週刊 時事経済

発行所
平市新川町17
株式会社
時事経済新聞社
主幹　田原登
電話　4775
毎週　土曜日発行
定価3カ月　百円
一部　五円

常磐市の大温泉郷計画

訪問の記

日本はその昔の様に海外雄飛などという希望は全く無く、文化は急速調に進んで来た時代を迎えて国民の希望はせめて国内の観光地でも見ることが一つの大きな希望となった。そのためか全国至るところ観光施設の充実に狂奔しているが、特に温泉をもつ常磐市が大温泉郷建設計画に着手したので去る一日同市を訪れ磯野市長とは会えなかったが若松商工観光村上開発、豊田厚生の各課長ほか関係者と会ってその構想やその他の市振興対策などを聴いて見た大温泉郷計画はまづ白鳥に放湯している大量を下湯長谷まで引湯することは決定したが、その他のことについては構想はなかなかまとまらないのか影響があるのか種々な計画の噂は乱れ飛んではいるが、はっきりした言明を避けていた。以下は質問して聴いた概要である。

白鳥から下湯長谷までまづ千百米を引湯する

常磐市湯本温泉は現在二十八軒の旅館があるが観光客の収容能力は最大限千七百人で百人の宴会が出来る施設のある宿屋は二、三軒しかない。これでは今後押し掛けて来ると予想される大団体客を誘致することは出来ないので、大宴会場をもつ本格的ホテルの建設計画に乗り出している。現在の湯は鹿島鉱から引いて毎分二・三トンを使用しているが、白鳥温泉藤原川に放流しているこのやく四倍に当る毎分一一・五トンの湯を全部使用して大温泉郷を造ろうとするもので、その湯の温度は摂氏五八度という熱いもので三五年度市予算からまづ千七百万円を抗じ白鳥から下湯長谷まで千百米をヒーム管で引張る計画である。これが終れば三十六年度には下湯長谷から町まで二千三百米を引張る計画らしいが、それから先はいろいろな構想があるらしいがまとまらず、今後ゆっくり研究の上決定するのであろう。この湯は磐城、勿来両市でも使用したいとしているが、常磐市側は分けてやることには不賛成のような空気であったまた夜の湯本を一層明るく綺麗にしたいと街路灯の建設と予算九十万円で駅前に大観迎塔を建設、これに水銀灯をつけ汽車旅行客にもスグ判るようにする。これは有志寄附に若干の市費で造る計画で既に設計図も完成していた。また水鉄ではこれと併行して湯本駅にお湯の手洗所を新設することに決定、近くいづれも出来上る。また附近の環境の美化を図るために「樹光会」というものを設けた。会長に白石初太郎さんがなり会員組織で植樹する計画。早くもよい計画だと賛成者が続出して庭木の寄附申込みもあり市を喜ばしている。既に会員は五十名になったが、会費は月五十円、コドモは一円以上の軽費なので市民の大部分が会員になりそうだとのこと。市から五万円ぐらい出る模様でこの金で観音山、御幸山その他必要な場所に専門家に頼んで綺麗に植樹、または花園を造るので見違えるほどの綺麗な湯本を造るという計画だ。樹光会の発案者は越田和議長、吉田会頭だそうである。

需細企業に貸付

常磐市では中小企業というより零細企業者の金融を図り、その振興策をたて三十五年度から実施する。対象企業者は百五、六十軒で市が四百万を信用金庫、大東相互、福島相互両銀行に予託し零細企業者に十万円―十五万円を一カ年の期限で貸付ける。利子は日歩二銭八厘。普通の金融機関では貸付期限が三カ月位なのでこれではやり切れないので一カ年とし振興させようとするものである。

し尿処理場を増設

くみとり料は値上げ

常磐市はし尿処理場を建設したのは東北一早く昭和三十二年度だった。三千二百万円で造ったのだったが四年後の現在規模が小さかったことが判り新年度予算からやく二千三百万円を投じて増設することになった。薬品を使わず消化処理で従来一日百二十石処理して来たが、また増設する装置も百二十石処理で人口四万人まで処理出来るから今度はこれが完成すれば心配はなくなる。半乾燥の山羊のフンの様な堅さの肥料も出来るが現在は商品にはならず附近の農家に無償でやっている。くみ取料は二斗が十五円だったが新年度から十円値上げし二十五円とするが、五人家族でやく百円ぐらいだから他市と比較しても安く値上げで市の負担を軽くするという。

論壇

平競輪は存続せよ

田原登

競輪廃止論が高まってどうなるかと注目されて来たが一応存続することに決った。然し競輪の寿命はあと三年ぐらいになりそうな空気もあるので長くは続かないのかも知れない。

存続とは決ったものの改革案によると月六日間の開催日が四日間に短縮されるようでそうなると平競輪などの一カ年の純利益四千五百万円からやく一千万円ぐらい減るのではないかと見られる。だが開催期間が短縮されてもファンはそのために張りこむので売上げはそんなに落ちないのではないかとの見方もハッキリした予想はつかめないようだ。

競輪に対する非難の声は平方部では最近では薄らいで来ている。最初のうちは競輪に夢中になって財産をすったり夫婦ケンカが出来たり、首をつるものも現われたが、近ごろになってはこれにコリてこうした悲劇はあまりきかなくなっている。

競輪は社会の必要悪である必要悪というのは酒や煙草のようなもので、のまなければからだのためになるのだが、ヒトによってはのまなければいられない。悪いと知りながらのんでいるのである。競輪もまた悪いとは知りながらバクチ好きのご仁にはやらないではいられないのである。

人間というものは偉らそうなことをいっているが半面に悪いことをしたがる性質をもっている。若し競輪が廃止されると花札トバクとかその他のトバクの方に転向するのかも知れないのである。

斯うしたことを考えたり競馬やパチンコが問題にならいでいたりすることを思うと競輪ぐらいあっても歯才にかけて廃止しろと力む方がどうかとも思う。殊に平市のような競輪が唯一の財源になっているところでは実際問題としていまこれを廃止すると合所が困るというところでは、これにかわる財源でも見つからない限りやって行くほかはないだろう。競輪廃止論が出ると却ってファンはそれに反抗的のようで売上げが増加するのを見ると、彼等は無言のうちに存続して欲しいと要求しているようにも思う。大体競輪にくるお客の顔ぶれは殆んど決っているそうで、彼等は一生懸命働いて貯めた金で競輪にカケることによって生甲斐を感じているのだ。そうした人種のいることも忘れてはならないだろう。社会悲劇をなるべく出さない様にいろいろな方策をたてて存続をした方がよいだろう。道学者先生たちの一考を促したい。

社告

本社は今回新川町一七に事務所を移転しました。

時事経済新聞社

一億円事件の公判延期

平市三丁目駒木根忠敬氏が磐城市などを訴えた一億円の損害請求公判は二日開く筈であったが三月二十三日に延期となった。

四倉専門店増資

協組四倉専門店会（会長寺岸章氏）では出資金を百八十万円に増額する。組合員は三十二人で現在出資額は八十万円だが、チケット販売の増加で運転資金を増すことになった。

岡見が岡

観光事業はこれから益々盛んになることは間違いない石城は海あり山あり温泉ありでその設備をすれば多くの観光客が押し掛けて来るが、このままでは致し方がない▼五市を総合した観光施設をすることが必要だ観光客は他の有名なところを見て歩いている者が多いのでチャチな施設では訪れない。そこでそうした方面の権威者を招いて診断をして貰うことも必要だろう▼また観光会社でも設立して施設をやらせるその場合は地元の資本を集めて中央や他の資本を入れないことだ。一億とか二億ぐらい会社としてはどうだろう。やがて将来は採算が合うことだろう▼観光客は有名地に見あきて無名地の新観光地を選んでやってくるものと思われる研究すべき問題ではないか。

宝くじ買つて希望の明日がある
第133回関東・中部・東北自治宝くじ
前後賞併せて　300万円
1等200万円前後賞50万円
抽せん3月11日　受託　日本勧業銀行

高級センスある自家製靴
靴とスポーツ用品
大塚
平・駅前大通り
電2077

熱海温泉
眺望随一の松籟荘
常盤館
電（熱海）三五五六～九

新築落成
3月1日開店
キャバレーのあるホテル
熱海温泉
政府登録
ホテル
ウロコヤ
TEL（アタミ）3002

信州戸倉温泉
中戸倉の
マンモス風呂
トルコ風呂
ヘルスセンター
電戸倉四〇〇～四〇四

甘太郎焼
真根井菓子店
平市銀座通り　電四〇二五

オトコの子って流行に敏感ね
男性のセーターではジャガードもの（横編み柄）がブーム。色はグレーが多いですが次第にベージュ（ラクダ色）系に移っています。
男性丸ジャガードV袴セーター　一八〇〇円
〝ラムイタリアンカラー〟　二一〇〇円
藤越　平市
越
日曜サービス
一階（食料品）魚と果物
二階（衣料雑貨）弁当箱
三階（衣料品）一二〇円を一〇五円
一四四〇円のランドセルには草履袋オマケ
旧館（食堂）四月初旬全館完成まで
募集（三輪運転手、掃除係、店内巡視）各二名

志賀高原の旅（上）

何度行っても飽きない

信濃路は秋はやくして
笠岳の
山肌のいろ、いよいよ
冴える
旅幸とこれをし言はめ
空はれて
妙高も見ゆ
黒姫も見ゆ
（吉井勇）

この歌のもつ実感は志賀高原に行ったことのある人でないと一寸味わえられないもので私の好きな歌である。

信州の旅はいつ行っても春夏秋冬それぞれの季節の移り変りに私達の目を楽しませてくれる。山あり河あり温泉あり、お金と暇がありさえするなら何度行ってみてもいいところだ。

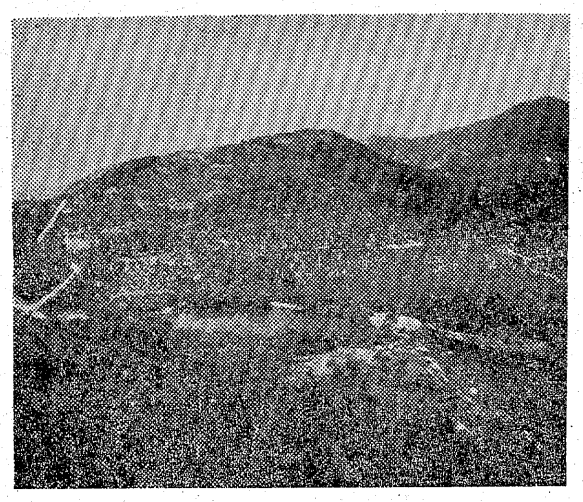
私は戸倉上山田の温泉郷を歩き、千曲館に泊って遠来の客としての心からなる歓待に満足して旅の疲れをすっかり癒すことができた。

次の日善光寺詣りをかねて湯田中温泉郷、志賀高原に行くことにした。汽車は長野駅に着いた。お寺様でもっている長野市、駅前より一本の大通りを進むと善光寺に着く。戦前もそうであったが門前町としての宿坊や旅館、さては土産物の店が胸に徽章を付けた団体参詣客の出入りで忙しい。参詣も早目に切り上げ駅前より長野電鉄に乗車した。

この電鉄は善光寺平を突き走り須坂市信州中野市を通り湯田中温泉で終点となり、また中野より分岐して木島線がありここより千曲川の長い橋を渡れば雪の深い飯山市に出る。地方軌道で六大都市を除いては長野電鉄は優秀な車を使っている。

快速電車を利用すると長野―湯田中間従来一時間余のところを三十分余で突走ってしまう。千曲川の河成段丘の広々としたこの善光寺平の一角に立って展望すると、殊に春先の眺めは素晴しいものがある。梅、桜、桃、あんずの花が一斉に咲き出し、遥かなる彼方に妙高、班尾、黒姫、戸隠、飯綱の五岳が美しい山影に白い雪の帽子をかぶり、朝夕それぞれ異った色彩で目に映じる。美しく晴れた日は遠く北アルプスの連山が屏風の様に屹立している。電車は終点湯田中に着いた。

ここと三社、安代、渋、上林穂波、角間、星川、地獄谷、発哺、木戸池、竜ノ湯と以上十二温泉の総称を山ノ内温泉郷と謂い旅館は一八〇軒収容力は一万人余を持っている。この温泉郷は志賀高原の玄関口で私は車窓に展開した景色をあかずに眺めながら番頭の出迎に丁字屋に泊った。



写真は―志賀高原夏の大観丸池（左）ビワ池（右）志賀高原には大小合せて七十有余の湖沼が各所に点在している。

農地50ヘクタールが潰れる

発展する石城を語る

常磐総合開発や自然発展などで昨年中につぶされた農地はやく五十ヘクタールに及んだ。これは石城の発展を物語るもので県石城事務所で調査したものによるとそのうち六割が住宅や工場敷地となり、その他は国道や県道の敷地となった。県内で昨年潰された農地はやく二百ヘクタールであるから石城ではその四分の一が潰されたわけ。一昨年に比べると石城で十ヘクタールも増している。この分だと十年後には六百ヘクタール潰されるものと推定され、それにつぶれ行く農地は皮肉にもよい田畑だということである。

農地法によって昨年同所で取扱った農地潰廃の許可申請は六百六十一件あり、このうち許可されたものは五百九十七件で、これによって潰れた農地は田八、八ヘクタール、畑七、七ヘクタールの計十六、八ヘクタール、このほか県が二十六、八ヘクタール、その他国県道路拡張や新設などで全部でやく五十ヘクタール潰れたという。

青年学校として

平の成人学校発足

高校試験から落ちた中学生たちを救うため平市では三中学校で成人学級を開き教育をしてきたが、今年の中学入学生の激増で成人学級を廃止のやむなきに至り、その対策として青年学校として白銀町の石島公民館で引受け教育を続行することになった。この運営委員会は去る二十一日同公民館で開き四月から発足することに決定したもので同委員の二十五人のなかから橋本憲司長谷川政、鈴木光四郎、市川祐男、猪狩精治、小松茂、根本貞治、石島徳長、五十嵐雄二の九名を特別委員に、また青年学校最高責任者は磐高校長橋本憲司、後援者に教育長長谷川政、一中校長鈴木光四郎、二中校長草野悟郎、三中校長三森芳重の五氏を選び、新任教師は六人とし、同公民館の教学館の三教室に百五十人を収容、英語、数学、国語理科、社会、音楽、図工、保健体育、家庭、職業の九科目を一日六時間、一週三十二時間を教えるもの。なお担任の六教師は高校受験に詳しい適任者を物色している。

ビール工場誘致

今度は白石市も出馬

日本ビール工場の誘致については平市では二月二十六日市振興委員会（委員長金古政通氏）を開いて協議の結果、誘致することになり近く諸橋市長ほか委員が上京、ビール側の要求する五万坪以上の工場敷地を無償提供の条件を与えて会社側に申入れることになり三日上京した。

この誘致は福島、郡山、平の三市の争奪戦の形となっているが、今度は宮城県白石市でも誘致に乗り出したので四市の競争となり果して平市がこれに成功するかどうか注目されて来た。

この建設は昭和四十年までに完成の予定で敷地も無償提供とはいうものの実際は会社が負担するとの説もある。

勿来会議所の設立申請

勿来市商工連合会では商工会議所を設立すべく赤津連合会長、佐々木市議、品川助役らはこのほど通産省に出頭認可申請書を出した。

平二小PTA

平二小PTAでは十日午後一時から総会を開き、決算報告役員改選ののち懇談会を開く

郷土の地学

あぶくま山地 東がわの生い立ち

②

柳沢一郎

裏日本にある石油の生成も何れも第三紀層の時代で、その中石油は新第三紀層といい石炭に比べ時代の新しいものです。

また常磐地方は第三紀の地層が大部分ですから、道路の切割や崖などから、貝化石が豊富に発見されることも珍らしくありません。これは前に述べた通り昔海底だった陸地の一部が隆起して現在の地形になったと考えれば良いのです。

それでは貝の化石などはどのような地層から発見されるかというとそれは、昔海底または湖底であったところが地殻の変動によって隆起し現在の山地または丘陵をなしているわけで、そういう所の化石帯から発見できることになります。詳しくいうとかって水底の堆積物だったことが基本的な問題で、既存の岩石が破砕され、それが水流で運搬されて水底で堆積したものの中に当時生棲していた動植物の遺骸が発見されるのです。かように水底で堆積した岩石を堆積岩（水成岩）といいます動植物の遺骸―化石はこうして見つかるのです。先に湖底の堆積と申しましたがこの広大な地球全体を考えれば、やはり海の堆積が一番広大ですこのように化石をただ見つける丈けでなく、化石を研究することによってその生棲当時の地層の状態―その地層がどのような個所に堆積したものであるか、例えば水の深浅―それから当時の気候の状態を推測することができ、更に大事なことはその地層が何時の時代に生成されたかという、即ち地質時代を決定する重要な鍵をもつことになります。ダーウィンの生物の進化論からでも分るように、古い時代の生物と新しい時代の生物の系統的発達については、かなりの進化の程度の相違が認められます。このように地質時代によって、生物の種類が異っておりますから、夫々の化石の発見によって、それらの時代が判明できることは肯かれるわけです。（つづく）

渓流絶景
奥飯坂穴原温泉
穴原ホテル
（電話飯坂）三六七
南伊豆海岸
稲取温泉
白雲閣
穴原ホテル支店
（電稲取）三二〇

名菓 じゃんがら
◇全国各地へ発送承ります
本舗 みよし
本店・平市田町電5036・売店・平市銀座通り・電5037

医薬卸
神谷薬品株式会社
平市田町（新田町）
電四三三一・四三三二

ネクタイ　ワイシャツ
化粧品　バンド
平駅前大通　電5721
ランドセル　鞄　靴
平市二丁目　電5722
帽子　学生帽
平市三丁目大通電5723
百合

荒物雑貨
伊勢屋
平市四丁目　電二〇四五

建築を生かす
照明
電灯・電力工事
設計施工
小野電気商会
平市四丁目（本局隣り）
電4379

東洋一の処理場より皆様のご家庭に健康をお届けする
森永
HOMO
ホモ牛乳
森永牛乳平販売KK
平市五丁目　電二九八七

石城財界人評判記

尊徳の遵奉者

陽気な酒脱人　馬目勝次郎氏

「皆様の利益を護る店」というキャッチフレーズで戦後売り出した平市の大黒屋社長馬目勝次郎氏（五四）は五市にも夫々支店を設けて従業員も二百五十名という大世帯となり、衣料品店として地方の王座を占めている。西武が大資本に物をいわせてデパートを造るかと思っていたら退却したのでこれ幸いとばかり〝藤越〟が小デパートをおっ立てた。

次で大黒屋も三丁目に小さいながらデパート建設を計画、愈よ着工、四月の花どきまでに超スピードで完工する予定のようだ。

地下一階、地上四階で食品部も造る構想らしく完成のうえは商業戦線正に花やかというところで合戦が激しいほどお客さんは喜こぶのだ。馬目社長は先代勝次郎を襲名した人で生粋の商売人、平商を一番で卒業した秀才、多少の財産を親からもらったが、今日衣料品店として不動の基盤を築くまでには人なみはずれた苦労があったようだ。社業は実弟精一健次の両氏が協力し采配を振っているので大助かりだ。やせ身の小兵ながら旺盛なファイトを身に秘めているいつも陽気で固苦しい理論などは吐かない、酒落を飛ばして会う人に好感を与える技術を持っている。彼は二宮尊徳の遺訓を守り実行している。このことはあまり人に知られていないこれを社の憲法としているから問屋からも客からも信用がついて繁栄しているといっていい。酒は好きでよく飲むが自己を戒律すること厳格なそうでその反面に従業員の面倒を見ることとその人材の養成には常に意を注いでいる。人間を造ること即ち事業が生々発展するユエンだからである。物資の不足だった終戦直後に先づ社員住宅を造って与え「俺は共産党だ」などと酒落ていた。俗臭のない酒脱いよいよ三月、ひな祭、お彼岸など、冬ごもりからぬけて、同じ家事雑用をはこぶにもなんとなく解放感がわいてきます。思いつくまま一つ二つ記してみます。

家庭

仕事の手順

どんな仕事でもその手順を考えながらすると、時間や労力の無駄が余程省けます。

日々の掃除と炊事に焦点をあてそれらをできるだけ早くすませる工夫をします。例えば今まで夕支度に平均五十分かかっていたとすればそれを四十分に切りあげる手順を考えます。同じ献立でも材料の取扱い順序を機能的にはこべば十分の時間は容易にうかせるはず。また室内の掃除に時間がかかりすぎるなら、その方法を再考してみること。ことに部屋数の多い家など案外ムダが見付かるものです。家庭電化の理想に近付く前にまず私たち自身の気持を合理化させることが大切です。

軽便おもし

食品類や干菓子の入っているポリエチレンの空袋はどこの家庭でも三つ四つと台所のすみにころがっています。これを利用して軽便おもしにお使いになってはいかが。

まず空袋をよく洗い、小石もよく洗い、必要の量だけ三コから十コ位まで加減して入れ、中にゆとりをとって空気をぬき、口をしっかりひもでしばります。袋の中で小石が自由に動きますから容器の形にしたがって平たくしたり、高くしたり、また口の少し狭いつぼの口にも通せます。

物しり帳

庚申塚

寛保元年（辛酉一七四一）徳川幕府（八代吉宗将軍）の天文方の通知によれば、同年の大晦日は三百一年目の庚申に当っていた。庚申の庚（十干の一）はかのえと読み、あらためるという意味の字で暑気が退き秋冷が進んで万物が変っていく意味である。

いっぽう申（十二支の一）はさると読み、身を意味し、初秋になってすべての物が成熟することをさす。だから庚申は身をあらためる。すなわち今までのだらけた気持や考えをすてて、身も心もシャンとさせる意味になる。

さて当日は庚申待（こうしんまち）庚申会（こうしんえ）といって、人が寄り合って寝ないで徹夜することが年中行事になった。なぜかというとふだん人の腹には三尸（さんし）という三匹の虫が住んでいてどんな秘密でもかぎつけるが、庚申の夜になるとその虫が人の睡眠中をうかがってこっそり天に昇り、天帝（天の神）にその人の罪悪を密告するという。そこでこの虫の逃走を警戒しての寝ずの番となるわけである。

これは初め道家（黄帝老子を祖とする中国宗教の一）が説き出し、やがて仏教に混同され神道にも影響を及ぼしたもので、当日は道家では三尸虫の神を、仏家では帝釈天と青面金剛を、神道では猿田彦命を祭った。そして常時的に祀られたのが、今でも路傍に見られる庚申塚であり、多くは三猿（みざる、きかざる、いわざる）の像が刻まれている。

また堂に祀ったのが庚申堂、庚申のある月が庚申月、その月によくひくという風邪が庚申風である。

この寛保元年はまた干支からいって辛酉（かのと、とり）の年めぐりに当り、辛酉は果物類が晩秋に近づくにしたがって成熟するように、陽気が衰え万物老いて整頓する意味から、古来世の中に革命の起こる年と考えられていたので事はいよいよ重大であったわけである。

易学を科学的に解釈した佐久間象山はこういっている。

「十干（甲乙丙丁戊己庚辛壬癸）十二支（子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥）は一年二十四節を区分する一種の符ちようにすぎないこれを数字であらわしても、いろは別にしても、またはアカサタナにしても、いっこうさしつかえがない。昔の人がこれを動物に配当し五行の説にあてはめて、もっともらしいことを云っているが、なんの理由もないことである。万物の霊長である人間が、なんで鳥獣虫魚の支配をうける必要があろうか」と。

まさにその通りである。

当時の楢葉郡北迫村八幡宮（現在広野町）神主の覚え書によると「同年の麦作はよかったが、七月初めのウンカで稲がくさり岩城国中は凶作となった。秋の検見には内藤藩は上納の減額を行った。十月九日には大暴風雨、翌十日には雪が降り、十二月十八日には嵐と洪水で阿波の国や相馬、仙台、南部の大船が多数破損をうけた」とある。

なお有名な磐城の百姓騒動は三年前の元文三年のことであった。

（筆者は作山道男氏）

今年中に……◆……自動車学校三つ

内郷市小島に一校は開業

平市才槌小路鈴木申一、一町目阿部進の両氏は資本金一千万円で平自動車教習所を建設する。場所は内郷市御台境町川向地内で四月一日から開所すべく準備を進め県公安委公認のものとすべく学校法人の手続き中である六千平方メートルの敷地に四百五十平方メートルの車庫教室、事務室などを設け、実地指導員六人学科同二人を置き本科三カ月速成科一カ月で立派な運転者を養成しようとするもの。此処を卒業した者は実地試験が免除される予定現在平自動車試験場だけで月二百五十人の受験者があるが石城には指導機関が無かったので免許をとろうとする者には便利になった。

また県自動車協会石城組合（組合長国井一美氏）の有志の出資で内郷市小島町に平自動車練習所が完成、去る二日から開所された。工費百五十万円で三千五百平方メートルの練習所で免許をとる者や技術の上達を図る者にとってこれもまた大いに便利である。このほか大丸社長横山徳男氏も自動車学校を建てる計画を進めており今年中に一度に三つの学校が出来上る予定である

灰皿

工場誘致で目の色を変えているとき磐城市字下川の海岸を埋立てて日本一の鉄工場八幡製鉄所の分工場が建つとまことしやかに流布されている。

果してそれが実現されたら大したものだが、そのために附近の土地の売買がしきりにあるとの専らのウワサである

平競輪
発売 10時30分
場外　福島・郡山・若松・平
3月5・6・7……12・13・14

洋品のツルヤ
高級　メリヤス　洋品
平市四丁目電 4540

ランドセルなら
ヨシタカバン
平駅前　TEL 4400

株式会社 永木タンス店
御婚礼家具・漆器
和洋家具はどうぞ
平市三丁目　電四五三五
工場　平競輪場前

家具のデパート
丸ほん
平市3丁目　電代表3107
工場　平市新田前電4416

国産品の誇り
国際水準を行くキャプヤーンテックス
皆様のご満足のゆく洋服の御注文は
大平洋服店
平市堂の前　電三九七二
最新式ししゆう用シンガーミシン新設
大平洋服店ネーム部

榎の口荘
電（平）四八四九
一泊素泊り一五〇～二〇〇円
内郷市ヘルスセンター入口左側
野木良平

母も死に一家離散 (3)

民主々義だった二宮尊徳

二宮金次郎の少年時代の苦労は筆に尽しがたいものがあり、筆者は忠実にその苦斗を述べて来ましたが、この文を読んでくれている人がどういう気持で読んでいるかが気にかかりました。というのは私自身二十代の若もので、最初に二宮金次郎について知りはじめた頃は、とても大きな抵抗を感じたものです。とてもあのどん底での苦しみはまねが出来ない。時代が違うのだから、現代は現代の生き方がある筈で、二宮尊徳には親しみが持てず興味が持てない。読者のみなさん、たぶんこうお考えではないでしょうか。ある意味で私も同感です。しかし、私達はもっと考えてみなければなりません。私達の周囲にはなにがありますか。とてつもない世の中の矛盾と人間同志の醜い争いと偽善の皮をかぶった様々の悪に満ちています。小さくは個人の問題、家庭でのこと社会での問題、更に大きく政治にまでつながる凡ゆる未解決の問題があります。しかも現代ほど眼先の利益を追求しすぎて人間の本来のあり方を考えることがなくなって来ている時はないと思うのです。働いていれば不満もあるがけっこう遊びながら食べていける。何か非常に緊張感に欠けているような気がします。

二宮尊徳はどうだったでしょう。彼の生きた時代は恐らく息を抜くひまもないぎりぎりまで追いつめられたところで、生きるという事がどんなことかを体でじかに感じとらざるをえませんでした。知らないよその国のことでない、私達の租先の偉大な「生」との斗いの記録を改まった気持で見てみたいと思うのです。

さて後の尊徳、少年金次郎の話にもどりたいと思います享和二年（即ち一八〇二年）の正月、彼は十六才になりましたが、困窮はますますひどくなって来ました。

地方の昔からの習しで毎年太神楽がやってきます。今年もまた一軒一軒獅子舞を演じて祝儀をもらってもうだいぶ近所まで来たようです。祝儀はふつう百文と決っていて、断わる家でも十二文は出さなければならず二三度獅子頭を振って出て行きます。金次郎の家にはその時一文の銭も無いのです。

「神棚にでもないだろうか」母がいうので神棚をかきまわしてみましたけれどあろう筈がありません。「ああ太鼓の音がもうすぐそこまで来ている」母はただおろおろするばかり。たった十二文の銭がないとあっては人も信用しないし恥ずかしい話だ。お母さん、家を閉め切って留守のふりをしましょう」金次郎はとっさにそう考えて大急ぎで戸を全部閉め切り、親子四人、家の奥で息をひそめて居ますと間もなく「祝いましょう」と太鼓の音と一諸ににぎやかな神楽が入って来ましたが、中はまっくらひっそりとしているので、すぐ出て行ってしまいました。母子は安堵の胸をなでおろしました。こういう悲惨な正月もすぎ三月も下旬の頃、今迄働き続けて来た母が気分が悪いと床に就いてしまいました。そして床に伏すこと十余日、四月四日にはぽっくりと死んでしまいました三十六才の若さでした。

実家の葬式にいった時、着物が貧しいために焼香させられず憤りのあまり中座して帰って来たことがあり、それが病いを発した原因ともいわれていますが、恐らく休みのない激労の疲れが積み重なり、栄養失調とも相まってその生涯をきりつめてしまったのでしょう。母の病気中、金次郎は夜も帯を解かずに昼夜つきっきり看護したのに、とうとう死んでしまったのです。

「お父さんもお母さんもいなくなってしまった」母の亡骸をぼう然と見つめるばかりです。彼が十六才、弟が十三才と四才と三人の孤児がからんとした空屋のような家に残されたのです。わずかに残った田は、親戚の援助のもとにとにかく田植されましたが、それも六月二十九日の酒匂川のはんらんによってまたも石河原と化してしまいました。二宮家にはもう何もありません三人は引きとられることになりました。金次郎は伯父万兵衛の家に、二人の弟は母の実家である隣村の川窪太兵衛方に。

一家分散、とにかく彼は無から再出発しなければなりません。新しい第二の人生が始まるのです。それにつけても当時の悪政というものが如何に百姓を動物視してその血と涙に一べつも与えなかったかが判るでしょう。

確かに金次郎の家は天災によって破産しました。しかしはたしてそれは天災だけによるものであったかというと絶対に違います。貢租を、か酷にとりたてその生活をかえりみない封建制度の矛盾というものに金次郎がその鋭い頭脳をむけていくこれからの生活に注意していただきたいと思います。

法律相談

期限が切ても明渡さぬ

店の改造費も払えと云う

問　一年程前にAに改造したばかりの店を貸しましたその時に期限をきめて契約書をとりかわしましたが、期限がきても明渡してくれません明渡せというなら店の一部を改造した費用と、店の小道具類の代価を払えといいます。改造費を払ったり小道具類を買取らなければなりませんか尚借家人は家賃を半年も払ってくれず、また寝起きする家は別に借りています。（平市B商人）

答　家を貸すとき期限をきめてあっても、また二年未満ならば期限の規定は認められず、期間をきめなかったもれを理由として、賃借契約のとして扱われます（借家法第三条の二）。また一年以上であっても、期限が来たからといって当然明渡の要求が出来るものではなく、あなた自身がその店を使って商売をする必要があるというような正当な事由がなければなりません（借家法第一条の二）。このように普通ならば容易に明渡させることは出来ないのですが、家賃を半年も支払っていないというのですから、このような借家人が勝手に改造するということは、義務違反になるということが多く、これも解除の理由になりますが、改造をみとめて費用を払うとしてもそれで家賃のうちが増したとを解除すれば明渡しを要求することが出来ます。即ち、十年位の期限を切って、期限内に家賃を払わなければ契約を解除するという内容証明郵便を出したにかかわらず支払わないときは、解除できます。次に改造費についていうと、借家人が勝手に改造するということは、義務違反になるということが多く、これも解除の理由になりますが、改造をみとめて費用を払うとしてもそれで家賃のうちが増したときだけ明渡しのとき払えばよいのです。しかし証拠のあるものに限ります。小道具とは何のことか判りませんが、タタミヤ建具など借家法第五条にいわゆる造作（家屋の使用上必要な物で、借家人が家屋に附加したもの）に当るものについては、借家人の請求によって買取らねばならないけれども、それ以外の物は買取らねばならぬというものではありません。（回答者弁護士山野辺政豪氏）

あなたの利益です
大切な予算を上手に使う法
それは専門店に御相談下さることです
キクヤ楽器店
平市2　TEL4002

財団法人　松村病院
労災指定病院
健康保険指定病院
国鉄嘱託医
外科　院長　松村亨
整形外科部長　堀野愛雄
性病科医員　豊川保雄
内科部長　高木浩雄
胃腸科部長　四戸隆太郎
神経科部長　坂本剛
呼吸器科部長　金子甚蔵
産婦人科部長　佐藤稔
精神科部長　坂本剛
放射線科部長　四戸隆太郎
臨床検査部技師長　池田繁一郎
薬局技師長　佐藤吉雄
薬局長　宇佐見幸良
本院　平市南町二三
城東分院　平市手摺町二九
城南分院　平市小太郎町一八
電話（代表）二一六一～三
完全看護・完全給食
産室新設　入院・往診随時

クツの王様
レツクス・フレツクス
従来のクツよりぐつと軽く弾力性がありとても快適です
素晴しい人気
靴のスガタ
本店平市銀座街電4604
支店平市二丁目電4059

電化製品の御用は
ナショナルショツプ
三幸電気部
平市三丁目大通
電4933

おいしいお茶
大勝園茶舗
平市三丁目　電二三九六

娯楽映画は東映　三夜東映
東映スコープ
毎週東映3本立
大人70円　学生50円　小人30円
3月2日～8日まで
喧嘩鷹
幽霊八十八夜（天）
富嶽秘帳
3月9日～15日まで
大岡政談
千鳥の印籠
右太エ門の
千両獅子
富嶽秘帳（完結篇）
平日10時・日曜祭日9時より
新装開館　三夜東映
平警察署前・電(平)3 936

3月8日～14日
総天然色西部活劇
誇り高き反逆者
アラン・ラッド
オリヴァ・デ・ハヴィランド　主演
監督マイケル・カーティス
シネマスコープ総天然色
暗黒街の女
ロバート・ライラー
シド・シャリース　主演
監督　ニコラス・レイ
MGM映画大映提供
全世界の問題作
13階段への道
11日夜特別有料試写会
完暖全房　ひかり座

3月9日～15日
昭和三十四年度
芸術祭参加作品
にあんちゃん
日活スコープ
全国民のひとみをぬらす
10才の少女の日記
俊才今村昌平が感動映画化
可愛い花
ザ・ピーナッツ姉妹が華かに描く夢と唄の青春二重奏
岡田真澄　白木マリ
平尾昌章
安くて面白い
平新東宝

会株社式
常磐ヤンマー製作所
平市一丁目　電四三二六・四三二七

信州　戸倉上山田温泉
千曲館
善光寺よりバス四十分
電話　戸倉一四四　上山田四四四